

リスクと機会		事業への影響（一例）	発現時期			影響度	影響額	対応策	
			短期	中期	長期				
リスク	移行 リスク	政策・法規制 リスク	・炭素税の導入		●	●	大	184百万円 ^{※1}	再生可能エネルギーへの転換、製造プロセスの効率化及び高効率設備の導入によるエネルギー消費量の削減
			・国や地方自治体によるGHG排出規制の強化	●	●	●	小	8百万円	
			・情報開示の義務化（及び対象範囲の拡大）	●	●	●	大		
		技術 リスク	・既存製品の低炭素技術への転換		●	●	中		環境に配慮した新技術の積極的な導入及び省エネルギー製造プロセスの開発を通じて製品製造時・使用時のエネルギー使用量の削減
			・低排出製品の開発		●	●	大		
		市場 リスク	・原材料コストの上昇	●	●	●	大		無駄の排除及び歩留りの向上
	・環境意識の高まりによる従来製品の売上減少			●	●	大		従来製品のCFP算定の推進及び低排出製品の上市	
	評判 リスク	・気候変動対応・開示遅れによる評価・評判の下落		●	●	中		計画的な気候変動対策及び開示の充実	
	物理的 リスク	急性リスク	・台風・洪水による操業停止	●	●	●	大	1,600百万円	操業拠点の分散化及びBCP対策の強化
			・台風・洪水による輸送停止	●	●	●	小		
慢性リスク		・平均気温の上昇による熱中症対策コスト（冷房等）の上昇		●	●	中		作業環境の改善及び熱中症のリスクの高いエリアの無人化、省力化	
機会	資源の効率性	・製造プロセスの効率化によるコスト削減	●	●	●	大		製造プロセスの無駄の排除、無人化・省人化による効率化を通じたコスト削減	
	エネルギー源	・省エネルギー化の推進によるコスト削減		●	●	大		製造プロセスでの省エネルギー設備の導入及び省エネルギープロセスの開発によるコスト削減	
	製品／サービス	・低炭素製品の開発による市場競争優位性の獲得		●	●	中		低炭素製品の提供を通じてサプライチェーン排出量を削減	
		・リサイクル技術確立による新規サービスの創出	●	●	●	中		使用済製品や廃棄物のリサイクルを通じた新規サービスの創出	
	市場	・新規市場の開拓による販路の拡充		●	●	中		客先での環境関連製品やサービスの開発・製造プロセスで使用される製品の提供	
		・気候関連情報の開示促進による企業イメージの向上		●	●	中		TCFD開示の充実やCDPスコアの向上を目指した活動の強化及び発信の強化	
	強靱性 レジリエンス	・気候関連取組の推進によるサプライチェーンの強化	●	●	●	大		上流・下流企業との協業の推進及び関係の強化	

※1 財務影響額については「IEA」NZEシナリオのカーボンプライスを基に計算しております。